mercari

2027年6月期　第1四半期決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名	株式会社メルカリ		上場取引所　東
コード番号	4385　ＵＲＬ　https://about.mercari.com/		
代表者	（役職名）代表執行役 CEO（社長）	（氏名）山田　進太郎	
問合せ先責任者	（役職名）執行役 SVP of Corporate 兼 CFO	（氏名）江田　清香	ＴＥＬ　03（6804）6907
配当支払開始予定日	ー		

決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年6月期第1四半期の連結業績（2026年7月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年6月期第1四半期	63,054	27.5	15,011	59.9	14,999	68.6	10,292	107.6	10,206	104.6	9,991	95.6
2026年6月期第1四半期	49,440	10.1	9,390	104.3	8,894	104.6	4,957	63.3	4,987	70.0	5,108	143.4

（参考）税引前四半期利益　2027年6月期第1四半期　15,196百万円（70.3%）　2026年6月期第1四半期　8,921百万円（59.8%）

（注）コア営業利益は、営業利益からその他の収益・その他の費用を控除して算出しております。なお、当第1四半期連結会計期間より、区分掲記した「無形資産売却損益」をコア営業利益に含めており、2026年6月期第1四半期のコア営業利益は組替え後の数値を記載しております。詳細は、添付資料P.13「（表示方法の変更）」をご参照ください。

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2027年6月期第1四半期	62.16	61.14
2026年6月期第1四半期	30.30	29.52

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年6月期第1四半期	707,204	137,917	137,433	19.4
2026年6月期	726,622	137,468	137,069	18.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年6月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2027年6月期	ー				
2027年6月期（予想）		0.00	ー	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年6月期の連結業績予想（2026年7月1日～2027年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	260,000 ～290,000	13.4 ～26.5	45,000	1.5

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. コア営業利益は、45,000百万円以上を予想しております。なお、対前期増減率は、2026年6月期のコア営業利益に「無形資産売却損益」の組替えを反映した数値を基準として算定しております。詳細は、添付資料P.13「（表示方法の変更）」をご参照ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更 ：無

③ 会計上の見積りの変更 ：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年6月期1Q	165,356,289株	2026年6月期	165,220,952株
② 期末自己株式数	2027年6月期1Q	2,119,557株	2026年6月期	656株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年6月期1Q	164,201,581株	2026年6月期1Q	164,599,890株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記載等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予測等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として保証するものではありません。なお、将来予測情報については、添付資料（P.3「1.経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）に記載しております。

○添付資料の目次

1．経営成績等の概況 …… 2
(1) 当四半期の経営成績の概況…… 2
(2) 当四半期の財政状態の概況…… 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
2．要約四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 …… 4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 …… 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 …… 8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（セグメント情報） …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 12
（表示方法の変更） …… 13
（重要な後発事象） …… 13

1.経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループでは、「あらゆる価値を循環させ、あらゆる人の可能性を広げる」をグループミッションに掲げ、その達成に向けて取り組んでおります。当連結会計年度は、高成長の継続と中長期的な成長に向けた投資を両立しながら、原則として、増益を伴うトップラインの成長を目指すという方針のもと、AIエージェントを基盤に据えたAI-Native化を推進することで、通期連結売上収益260,000～290,000百万円、コア営業利益45,000百万円以上を想定しております。

Marketplaceでは、安心・安全な取引環境の構築を中心とするプロダクトのコア体験強化を継続的に進めるとともに、高成長領域である越境取引の重点的な強化に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間の業績においては、コア体験の強化によってMAU（注1）の着実な積み上げとARPU（注2）の向上が継続したことに加え、エンタメ・ホビーの伸長も貢献したことで、GMV（注3）は前年同期比22.8%増の3,320億円となりました。こうした事業成長に加え、1Qでは大型の投資がなかったことから、コア営業利益は115億円（前年同期比36.5%増）となりました。また、注力領域である越境取引は、Marketplace全体を上回るGMVの高成長を継続しております。6月に提供を開始した米国自社越境取引は立ち上げ期のため、貢献は限定的であり、将来の成長基盤となる配送体験をはじめとするプロダクトの改善に注力してまいります。

Fintechでは、取扱高と与信の持続的な成長に向けて、日常利用の拡大と与信機会の創出を目指して取り組んでおります。「メルカード ゴールド」の入会キャンペーンが奏功し、「メルカード」の会員獲得が順調に進捗したことで、「メルカリ」外取扱高が伸長しております。加えて、Marketplaceの好調なGMV成長に伴い「メルカリ」内取扱高も増加し、債権残高（注4）は前年同期比44.6%増の3,891億円と順調に成長しております。債権回収率（注5）は、独自のAI与信を活かした厳格な与信コントロール等により高い水準を維持し、99.4%となりました。その結果、売上収益は前年同期比41.9%増の201億円で着地しております。コア営業利益は、Creditの順調な成長により収益力が向上したこと、および当第1四半期は大型のマーケティング施策を行わなかった影響で、前年同期比116.8%増の59億円となりました。

以上の結果、Japan Businessの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益50,705百万円（前年同期比32.0%増）、セグメント利益17,415百万円（前年同期比58.9%増）となりました。

USでは、継続的なプロダクトのコア体験強化を推進しております。当第1四半期連結累計期間は、コア体験の強化を背景に、エンタメ・ホビーや家電、コスメが好調に推移した一方で、ファッション領域において競合による積極的なプロモーションの影響等もあり、主に低価格帯のファッションが弱含みました。その結果、GMV（注3）は前年同期比0.3%増の194百万米ドル（310億円。月次平均為替レート換算での積み上げ）、売上収益は9,916百万円（前年同期比3.7%増）となりました。コア営業利益は、マーケティング投資を行いつつも投資規律を維持したことで、91百万円で着地しております。セグメント利益は88百万円（前年同期比21.0%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のグループ業績は、売上収益63,054百万円（前年同期比27.5%増）、コア営業利益15,011百万円（前年同期比59.9%増）、営業利益14,999百万円（前年同期比68.6%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益10,206百万円（前年同期比104.6%増）となりました。

（注）1. 1か月に1回以上アプリ又はWebサイトをブラウジングした国内外における四半期平均の登録済みお客さま数。なお、越境取引における海外パートナーサイト経由のお客さまは含まない。
2. 「Average Revenue Per User」の略。ユーザー一人当たりの平均購入金額。
3. 「Gross Merchandise Value」の略。流通取引総額のことを指す。
4. 当期末時点における「メルペイのあと払い（翌月払い・定額払い・分割払い）」と「メルペイスマートマネー」の債権残高（破産更生債権等を除く）。
5. 11か月前に請求を行った「メルペイのあと払い（翌月払い・定額払い・分割払い）」と「メルペイスマートマネー」の金額に対して11か月以内に回収を完了した四半期累計の加重平均割合（破産更生債権等を除く）。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び資本の状況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては、前連結会計年度末に比べ19,417百万円減少し、707,204百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

・現金及び現金同等物の主な増減理由は「キャッシュ・フローの状況」に記載しております。
・営業債権及びその他の債権は、主に「メルペイのあと払い（翌月払い・定額払い・分割払い）」及び「メルペイスマートマネー」の利用増加に伴い、前連結会計年度末に比べ29,734百万円増加しております。
・無形資産は、主に開発人件費の資産化によるソフトウエアの増加に伴い、前連結会計年度末に比べ1,522百万

円増加しております。
・差入保証金は、主に「メルペイ」の供託金の差入れに伴い、前連結会計年度末に比べ9,898百万円増加しております。
・その他の金融資産（流動）は、主に国債の満期償還に伴い、前連結会計年度末に比べ8,839百万円減少しております。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ19,867百万円減少し、569,287百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。
・社債及び借入金（流動負債）は、主に転換社債型新株予約権付社債の償還に伴い、前連結会計年度末に比べ2,190百万円減少しております。
・社債及び借入金（非流動負債）は、主に長期借入金の一部を流動負債へ振り替えたことにより、前連結会計年度末に比べ4,503百万円減少しております。
・未払法人所得税等は、主に法人所得税の納付に伴い、前連結会計年度末に比べ11,552百万円減少しております。

（資本）

当第1四半期連結会計期間末における資本につきましては、前連結会計年度末に比べ449百万円増加し、137,917百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。
・自己株式は、自己株式の取得に伴い、前連結会計年度末に比べ10,000百万円増加しております。
・利益剰余金は、主に親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上に伴い、前連結会計年度末に比べ10,158百万円増加しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ55,044百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には129,024百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は、44,920百万円となりました。これは主に、税引前四半期利益15,196百万円、営業債権及びその他の債権の増加額29,733百万円、差入保証金の増加額9,900百万円、法人所得税の支払額16,487百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により獲得した資金は、7,783百万円となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入10,000百万円、無形資産の取得による支出1,459百万円、定期預金の預入による支出20,164百万円、定期預金の払戻による収入20,000百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、17,177百万円となりました。これは主に短期借入金の増加額2,767百万円、社債の発行及び長期借入れによる収入15,000百万円、社債の償還及び長期借入金の返済による支出24,487百万円、自己株式の取得による支出10,047百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、ミッションの達成に向け、引き続き、原則として、増益を伴うトップラインの成長を目指す方針です。2027年6月期の連結売上収益は260,000百万円～290,000百万円（前連結会計年度比13.4%～26.5%増加）、連結コア営業利益については、45,000百万円以上（前連結会計年度比1.5%増加以上）を想定しております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	184,069	129,024
営業債権及びその他の債権	363,953	393,688
預け金	3,138	3,280
その他の金融資産	127,678	118,839
その他の流動資産	4,157	6,032
流動資産合計	682,996	650,865
非流動資産		
有形固定資産	2,621	2,922
使用権資産	8,008	8,400
無形資産	4,088	5,611
繰延税金資産	17,518	17,766
差入保証金	832	10,731
その他の金融資産	9,958	10,356
その他の非流動資産	597	549
非流動資産合計	43,626	56,339
資産合計	726,622	707,204

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年6月30日）	当第1四半期連結会計期間 （2026年9月30日）
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	19,154	17,195
社債及び借入金	143,243	141,052
リース負債	1,571	1,849
未払法人所得税等	16,384	4,831
預り金	264,161	265,473
その他の金融負債	3,033	2,139
その他の流動負債	10,825	10,284
流動負債合計	458,373	442,826
非流動負債		
社債及び借入金	122,886	118,382
リース負債	6,621	6,753
引当金	745	731
繰延税金負債	90	90
その他の金融負債	－	89
その他の非流動負債	437	412
非流動負債合計	130,780	126,460
負債合計	589,154	569,287
資本		
資本金	49,182	49,441
資本剰余金	51,887	52,197
利益剰余金	32,426	42,584
自己株式	△2	△10,002
その他の資本の構成要素	3,575	3,212
親会社の所有者に帰属する持分	137,069	137,433
非支配持分	398	483
資本合計	137,468	137,917
負債及び資本合計	726,622	707,204

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

（要約四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自　2025年7月1日 至　2025年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自　2026年7月1日 至　2026年9月30日）
売上収益	49,440	63,054
売上原価	13,504	16,975
売上総利益	35,936	46,078
販売費及び一般管理費	26,610	31,576
無形資産売却損益	64	509
その他の収益	55	56
その他の費用	551	68
営業利益	8,894	14,999
金融収益	261	460
金融費用	235	263
税引前四半期利益	8,921	15,196
法人所得税費用	3,963	4,903
四半期利益	4,957	10,292
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,987	10,206
非支配持分	△30	86
四半期利益	4,957	10,292
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	30.30	62.16
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	29.52	61.14

（要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自　2025年7月1日 至　2025年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自　2026年7月1日 至　2026年9月30日）
四半期利益	4,957	10,292
その他の包括利益（税効果考慮後）		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	0	△0
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	135	△204
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分	15	△96
その他の包括利益（税効果考慮後）合計	150	△301
四半期包括利益	5,108	9,991
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,137	9,906
非支配持分	△29	85
四半期包括利益	5,108	9,991

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自　2025年7月1日　至　2025年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						
					その他の資本の構成要素		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株式引受権	新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2025年7月1日　残高	48,176	50,998	△3,014	△0	―	1,321	840
四半期利益			4,987				
その他の包括利益							135
四半期包括利益	―	―	4,987	―	―	―	135
株式の発行	175	4				△178	
自己株式の取得							
株式報酬取引		215			22	169	
所有者との取引額等合計	175	220	―	―	22	△9	―
2025年9月30日　残高	48,352	51,218	1,972	△0	22	1,312	976

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素					
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2025年7月1日　残高	12	934	3,109	99,269	371	99,640
四半期利益				4,987	△30	4,957
その他の包括利益	14	0	150	150	0	150
四半期包括利益	14	0	150	5,137	△29	5,108
株式の発行			△178	1		1
自己株式の取得						
株式報酬取引			191	406		406
所有者との取引額等合計	―	―	12	408	―	408
2025年9月30日　残高	27	934	3,272	104,815	342	105,157

当第1四半期連結累計期間（自　2026年7月1日　至　2026年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						
					その他の資本の構成要素		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株式引受権	新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2026年7月1日　残高	49,182	51,887	32,426	△2	134	709	1,317
四半期利益			10,206				
その他の包括利益							△204
四半期包括利益	－	－	10,206	－	－	－	△204
株式の発行	258	△91				△153	
自己株式の取得			△47	△10,000			
株式報酬取引		401			38	52	
所有者との取引額等合計	258	309	△47	△10,000	38	△101	－
2026年9月30日　残高	49,441	52,197	42,584	△10,002	172	608	1,113

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素					
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2026年7月1日　残高	103	1,310	3,575	137,069	398	137,468
四半期利益				10,206	86	10,292
その他の包括利益	△95	△0	△300	△300	△1	△301
四半期包括利益	△95	△0	△300	9,906	85	9,991
株式の発行			△153	13		13
自己株式の取得				△10,047		△10,047
株式報酬取引			90	492		492
所有者との取引額等合計	－	－	△63	△9,542	－	△9,542
2026年9月30日　残高	7	1,309	3,212	137,433	483	137,917

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自　2025年7月1日 至　2025年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自　2026年7月1日 至　2026年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	8,921	15,196
減価償却費及び償却費	617	853
受取利息及び受取配当金	△261	△460
支払利息	148	170
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△19,531	△29,733
預け金の増減額（△は増加）	1,503	△161
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△1,152	△2,308
預り金の増減額（△は減少）	4,134	1,802
その他	△601	△4,168
小計	△6,221	△18,807
利息の受取額	174	412
利息の支払額	△106	△145
差入保証金の増減額（△は増加）	27,500	△9,900
法人所得税の支払額	△3,214	△16,487
法人所得税の還付額	25	－
その他	6	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,163	△44,920
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△299	△28
投資有価証券の償還による収入	－	10,000
有形固定資産の取得による支出	△128	△645
無形資産の取得による支出	△1,128	△1,459
敷金及び保証金の差入による支出	－	△375
敷金及び保証金の回収による収入	－	348
定期預金の預入による支出	△20,000	△20,164
定期預金の払戻による収入	－	20,000
その他	15	109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,541	7,783
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	12,039	2,767
社債の発行及び長期借入れによる収入	－	15,000
社債の償還及び長期借入金の返済による支出	△7,218	△24,487
株式の発行による収入	1	13
自己株式の取得による支出	－	△10,047
リース負債の返済による支出	△414	△422
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,407	△17,177
現金及び現金同等物に係る換算差額	496	△731
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,526	△55,044
現金及び現金同等物の期首残高	147,028	184,069
現金及び現金同等物の四半期末残高	148,555	129,024

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報）

(1)報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会・執行役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループでは国内におけるフリマアプリ「メルカリ」を中核にする「Japan Business」及び米国におけるフリマアプリ「Mercari」を運営する「US」を報告セグメントとして区分し、グループ戦略を立案・決定しております。

なお、各報告セグメントに含まれる主な内容は、以下のとおりであります。

Japan Business	Marketplace	日本国内でのフリマアプリ運営
	Fintech	日本国内での決済金融、暗号資産関連
US	Marketplace	米国でのフリマアプリ運営

(2)報告セグメントに関する情報

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとしております。

セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間（自　2025年7月1日　至　2025年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注1）	合計	調整額	連結
	Japan Business	US	計				
売上収益							
Marketplace	27,120	9,560	36,680	－	36,680	－	36,680
Fintech	11,320	－	11,320	－	11,320	－	11,320
その他	△26	－	△26	1,466	1,440	－	1,440
合計	38,413	9,560	47,973	1,466	49,440	－	49,440
顧客との契約から生じる収益	29,623	9,560	39,183	1,466	40,650	－	40,650
その他の源泉から生じる収益	8,790	－	8,790	－	8,790	－	8,790
合計	38,413	9,560	47,973	1,466	49,440	－	49,440
外部顧客への売上収益	38,413	9,560	47,973	1,466	49,440	－	49,440
セグメント間の内部売上収益	－	－	－	555	555	△555	－
合計	38,413	9,560	47,973	2,022	49,996	△555	49,440
セグメント利益（△損失）	10,962	73	11,035	△59	10,976	△2,081	8,894
金融収益	－	－	－	－	－	－	261
金融費用	－	－	－	－	－	－	235
税引前四半期利益	－	－	－	－	－	－	8,921

（注）1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツビジネス事業等を含んでおります。

2.セグメント損益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3.「US」は配送売上を顧客から受け取る対価の総額で認識しており、5,356百万円を計上しております。

4.「外部顧客への売上収益」は、顧客との契約から生じる収益及びその他の源泉から生じる収益が含まれております。その他の源泉から生じる収益は、主にIFRS第9号に基づく利息収益であり、利息収益は8,192百万円であります。また、株式会社メルコインが暗号資産交換業者として行う、暗号資産の売買取引については、IFRS第9号を適用したうえで、デリバティブとして会計処理を行っており、当該収益は597百万円であります。

当第1四半期連結累計期間（自　2026年7月1日　至　2026年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注1）	合計	調整額	連結
	Japan Business	US	計				
売上収益							
Marketplace	34,102	9,916	44,018	－	44,018	－	44,018
Fintech	16,501	－	16,501	－	16,501	－	16,501
その他	100	－	100	2,432	2,533	－	2,533
合計	50,705	9,916	60,621	2,432	63,054	－	63,054
顧客との契約から生じる収益	37,662	9,916	47,578	2,432	50,011	－	50,011
その他の源泉から生じる収益	13,042	－	13,042	－	13,042	－	13,042
合計	50,705	9,916	60,621	2,432	63,054	－	63,054
外部顧客への売上収益	50,705	9,916	60,621	2,432	63,054	－	63,054
セグメント間の内部売上収益	－	－	－	717	717	△717	－
合計	50,705	9,916	60,621	3,150	63,771	△717	63,054
セグメント利益（△損失）	17,415	88	17,504	372	17,876	△2,877	14,999
金融収益	－	－	－	－	－	－	460
金融費用	－	－	－	－	－	－	263
税引前四半期利益	－	－	－	－	－	－	15,196

（注）1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツビジネス事業等を含んでおります。

2.セグメント損益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3.「US」は配送売上を顧客から受け取る対価の総額で認識しており、5,222百万円を計上しております。

4.「外部顧客への売上収益」は、顧客との契約から生じる収益及びその他の源泉から生じる収益が含まれております。その他の源泉から生じる収益は、主にIFRS第9号に基づく利息収益であり、利息収益は12,805百万円であります。また、株式会社メルコインが暗号資産交換業者として行う、暗号資産の売買取引については、IFRS第9号を適用したうえで、デリバティブとして会計処理を行っており、当該収益は237百万円であります。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（要約四半期連結損益計算書）

前第1四半期連結累計期間において「その他の収益」に含めて表示しておりました無形資産の売却に係る損益は、金額的重要性が増したこと及び当該損益を経営管理上の業績指標に含めて管理することとしたことに伴い、当社グループの経営成績をより適切に表示するため、当第1四半期連結会計期間より「無形資産売却損益」として区分掲記しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書において「その他の収益」に含めて表示しておりました64百万円は、「無形資産売却損益」として組み替えております。なお、この変更が営業利益及び税引前四半期利益に与える影響はありません。

（重要な後発事象）

（自己株式の消却）

当社は、2026年8月5日に決定した会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却を、2026年11月12日付で実施いたしました。

消却に係る事項の内容

(1) 消却した株式の種類：当社普通株式

(2) 消却した株式の総数：2,118,800株（消却前の発行済株式総数に対する割合：1.28％）

(3) 消却日：2026年11月12日

(4) 消却後の発行済株式総数：163,260,023株